

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	志賀高原ユネスコエコパーク 蓮池外来種駆除事業
事業主体 (連絡先)	志賀高原観光協会 下高井郡山ノ内町大字平穏 7148 電話 0269-34-2404 FAX0269-34-2344 e-mail info@shigakogen.gr.jp
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業 (6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,454,496 円

事業内容

1、蓮池深部専用機械による駆除作業

7月28日～8月6日 ノダック株式会社による専用機械にて駆除作業を実施。環境省からの指導により保全種(ミツガシワ)以外の水草の駆除)



【専用機械による駆除】

2、地域関係者対象外来種講習・駆除説明会

10月8日 蓮池湖畔入水駆除、周辺間伐にあたり講習会を受講した。



【長野県環境保全研究所講師による講習会】

3、地域関係者による蓮池湖畔外来種駆除・間伐作業

(山ノ内町東小学校6年生 ESD 講義・作業含む)



【地元関係者による入水外来種駆除作業及び東小学校6年生による間伐木々の撤去作業】

4、蓮池駆除物の撤去破棄処理

駆除物の置き場(旧国民宿舎跡地)より駆除物撤去と焼却処分



【仮置場からの乾燥駆除物撤去・焼却処分】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 人力では難しい深部の駆除作業を実績のある業者に依頼。予定通りの駆除作業を実施することができた。
 - ② 講習会では、長野県環境保全研究所様の協力を頂き、地域関係者対象に講習。認識、意識の向上が図れた。
 - ③ 100名近くの地域関係者、地権者、協会役員が総出で作業を実施した。真近にみる外来種の現況を認識し、地域関係者全員が汗を流し駆除作業を実施した。地域関係者の意識の向上、精神の活性化が図れた。
- ※ 地元山ノ内町東小学校6年生にも本事業をユネスコエコパークESD事業として捉え参加頂き、学校及び生徒のふるさとの原風景の復旧をテーマに、保全と利用についての持続的な価値観の創出ができた。
- ④ 駆除物の仮置場(乾燥目的)からの駆除物撤去、及びその焼却については、降雨などの影響によりも遅れて実施。本格的な積雪前に仮置場の現状を回復する事ができた。
 - ⑤ 本活動を地元テレビ局、新聞社へリリースした結果、報道コメントや記事等においては支援金活用の表現を入れることができた。(NBS長野放送、TSBテレビ信州、信濃毎日新聞、地元ローカル紙などで取り上げられた。)

【目標・ねらい】

- ① 人力では難しい深部駆除作業
 - ② 地域関係者対象の講習会、外来種に対する認識を新たにしました。
 - ③ 地域関係者で行動、意識の向上と愛着、地域の活性化を図る
- ※ 地元小学生対象ESD事業を実施、環境の保全、利用の為の持続的な価値観の創出。
- ④ 駆除物の撤去と破棄。現況を保全する。
 - ④ 各種広報活動

※自己評価【B】

【理由】

当初予定していた事業がほぼ予定通り完了する事ができ、目的の地域活性化(元気の出る)が図れた。地元小学生にも協力いただき地元関係者のみならず広く意識の向上と環境の保全と利用を啓発する事ができた。

今後の取り組み

当地志賀高原は国立公園、ユネスコエコパークでありながらも外来種についての認識は薄く、一部有志や外郭機関による駆除事業・作業の実績はあったにせよ、ここまで大がかりで、地域関係者一体となった湖沼の外来種駆除は初めての事でありました。今回、長野県による支援、また地元の協力により本事業が目的通り尚且つ成功裡に終了できたことは、地域にとっても大変有益だったと地権者・関係者ともに認識しております。本事業を志賀高原観光協会として事業継続し、湖沼だけでなく、各種登山道、遊歩道における外来種駆除・間伐等の整備作業も同様の方法で実施して行きたい。

また、現在観光協会が推進する全国のユネスコスクールを対象とした同エコパーク環境学習プログラムにおいて、今回の地元小学生を対象に実施したESDへのアプローチをツーリズムカテゴリーのひとつとしてプログラムに活用して行きます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある